表２－２（２）　各計画段階における環境影響要因と一般的な環境保全措置の例（陸水域）

環境影響要因及び環境要素の変化 ＼ 事業の種類及び環境保全措置				一般的な環境保全措置（代償措置を除く）																											
事業の段階	環境影響要因		陸水域環境要素の変化	事業実施位置の配慮	事業実施面積の縮小	地形改変の最小化	植生の改変の最小化	工作物の構造の配慮	低公害型機械の使用	防塵・防音・遮光施設の設置	車両台数・通行速度の抑制	稼動台数の抑制	仮設沈澱地の設置	雨水の地下浸透施設の設置	植栽地の造成	河畔林の保護	植栽等による表土の保護	道路周辺の土砂流出防止	コンクリート製資材の洗浄	有害物質の事前確認・回収・処分	地下水位・水脈の事前調査	地下水利用量の抑制	排砂工・バイパスによる土砂供給	放流量の抑制、放水方法の工夫	河川流量調整・水質などの変化による急激な変化の防止	橋梁化のスパン・ポルトの設置	魚道の設置	農業散布排水の抑制・水処理施設の設置	下水処理排水・水処理施設の設置	立ち入りの制限	モニタリング	夜間作業の抑制・照明灯の高さ・照度	啓発活動
工事の実施	建設機械の稼動	全般	建設機械による騒音・振動の発生																												
	工事用資材の搬入		車両等による騒音・振動の発生																												
	工事用車両の走行		車両等による騒音・振動の発生																												
	土工・造成等	施工ヤードの造成	土砂・濁水の発生																												
		森林の伐採	土砂・濁水の発生																												
		地被剥離	土砂流出・濁りの発生																												
		土工（切土）	土砂流出・濁りの発生																												
		道路舗装	道路排水（濁水）の発生																												
		コンクリート工事	底質の巻き上げ、コンクリートあくの発生																												
		護岸・堤防工事	移行帯の破壊、底質の巻き上げ、コンクリートあくの発生																												
		浚渫・掘り込み	移行帯の破壊、底質の巻き上げ、濁りの発生																												
		埋立・干拓	移行帯の破壊、濁りの発生、底質の変化、水質の変化																												
		地盤の改良	底質の変化																												
	井戸の掘削		地下水位の変化、水位の変動、表流水・地下水等の分断																												
	産業廃棄物の発生		濁水の発生、有害物質の発生																												
	夜間照明		光環境の変化																												
土地及び工作物の存在及び供用	ダム	原石採取	表流水・地下水等の分断																												
			水源涵養機能の低下																												
			濁水の発生																												
		ダム堤体の存在	河川環境の分断																												
			土砂供給の停止																												
			河床の固定																												
		ダムの供用	水位水量の変化																												
		貯水池の存在	水質水温の変化																												
			地下水位の変化																												
		貯留水の放水	水質水温の変化																												
		付帯道路の存在	水系の分断																												
	堰	堤防・護岸の存在	移行帯の破壊																												
		堰の存在・供用	水位水量																												
			水質の変化																												
			河川環境の分断																												
			塩分濃度の変化																												
		湛水区域の存在	水質等の変化																												
			移行帯の水没																												
			地下水位の変化																												
	湖沼水位調節施設	堤防の存在	移行帯の破壊																												
			底質の変化																												
		水門の供用	水位の変動																												
			移行帯の水没																												
			洗掘																												
	放水路	放水路の存在・供用	水量の変化																												
			塩分濃度の変化																												
			地下水位の変化																												
			回遊路の遮断																												
	水力発電所	ダム式の場合	ダム式の場合、ダムもしくは堰と同様																												
		水路式の場合																													
		取水	減水による環境変化																												
		取水堰の存在	河川環境の分断、回遊路の遮断																												
		水の移送	水系の改変																												
	公有水面の埋立、干拓	埋立	水面減少																												
			濁水の発生																												
	農用地造成	土地の改変	表流水・地下水等の分断																												
			水源涵養機能の低下																												
			濁水の発生																												
		水路の存在	水量の変化																												
			地下水位の変化																												
		取水堰の存在	水量の変化																												
			河川の分断																												
		農薬等の散布	水質の汚濁																												
	畜産施設	存在	汚水の発生																												
	レクリエーション施設（ｺﾞﾙﾌ場・ｽｷｰ場等）	土地の改変	表流水・地下水等の分断																												
			水源涵養機能の低下																												
			濁水の発生																												
		農薬等の散布	水質の汚濁																												
	土砂採取・鉱物採掘	地形改変（構造物）	表流水・地下水等の分断																												
			水源涵養機能の低下																												
			濁水の発生																												
	下水終末処理場	処理水の放流	流量の増加																												
			負荷の増大																												
	夜間照明の発生		光環境の変化																												
	諸施設からの排水の発生		水質変化																												